

フレアボイド最近の話題

医薬情報委員会
フレアボイド報告評価小委員会

7月号が会員の皆様のお手元に届く頃には本格的な夏の日差しが期待される時期になっていると思います。

今月号のフレアボイド広場では、1. 平成17年度の都道府県別報告件数等のデータ 2. 4月に施行された個人情報保護基本法とフレアボイド報告の考え方 3. 報告施設証の発行についてご紹介します。ご参考になれば幸いです。

1. 平成17年度の都道府県別報告件数

平成17年度は、5月に未然回避報告に対応した新書式を導入したこと、都道府県病院薬剤師会（以下、病薬）単位での熱心な報告推進活動が実ったことがあり、年間合計の報告数は7,543件と過去最多となりました。

都道府県病薬別に見ますと、表1にありますように、100件以上を報告しているところが17病薬あることがわかります。また、今年度は報告数上位の都道府県に変化がありました。例年報告数の多い愛知県、岐阜県、会員数の多い東京都、大阪府を抜いて広島県が報告数トップとなりました。県病薬における報告推進活動が活発であったと伺っていますが、後日報告推進の秘訣をこのフレアボイド広場で紹介していただこうと考えています。

何はともあれ、会員の皆様の各ご施設における活躍の証であり、患者である国民の皆様の副作用リスク回避の実件数ですから、本年度も多くの報告をお寄せいただけますことをお待ちしております。

2. 個人情報保護基本法とフレアボイド報告の考え方

本年4月に施行された個人情報保護基本法に関して、フレアボイド報告はどのように考えればいいのかとの会員の皆様からお問い合わせをいただくことがあります。そこで、日本病院薬剤師会（以下、日病薬）としてのこの問題への考え方をご紹介することとしました。

フレアボイド報告の書式は、「患者氏名」「イニシャル」「生年月日」等の患者個人を特定し得る情報を含んでいないため、報告施設の段階で連結可能匿名化が行われており、個人情報保護基本法に関する問題は生じてないと日病薬として判断しています。

なお、施設等で個人情報保護基本法に関して手順書が定められている場合は、学会報告等に準じ、施設の手順に沿うよう配慮することも必要と考えられます。

こうした判断については、三輪顧問弁護士にも見解を確認済みであることをご紹介します。従いまして、基本的に今まで同様にご報告いただいでよいものとご理解下さい。

表1 平成16年度フレアボイド報告施設数

日病薬会員の施設数との比較

平成17年3月31日現在

病薬名	報告件数	報告施設数	日病薬会員の施設数	病薬名	報告件数	報告施設数	日病薬会員の施設数
北海道	304	17	519	滋賀	73	9	57
青森	96	11	83	京都	32	7	150
岩手	20	3	80	兵庫	64	8	312
宮城	16	1	124	奈良	65	9	65
秋田	25	10	74	和歌山	5	3	83
山形	26	8	57	大阪	638	17	409
福島	59	5	133	鳥取	171	15	41
茨城	414	9	134	島根	188	8	40
栃木	77	4	85	岡山	83	12	166
群馬	73	6	127	広島	859	9	197
埼玉	130	17	274	徳島	0	0	82
千葉	252	7	244	香川	26	5	55
神奈川	174	18	310	愛媛	145	6	123
東京	700	47	441	高知	7	3	133
山梨	0	0	52	山口	75	9	135
長野	124	4	86	福岡	173	20	299
新潟	20	3	126	佐賀	10	4	69
富山	3	2	76	長崎	9	6	129
石川	35	10	92	大分	28	6	98
福井	17	4	61	熊本	39	8	116
静岡	543	12	169	宮崎	32	5	88
岐阜	588	10	94	鹿児島	39	10	210
愛知	793	37	259	沖縄	0	0	59
三重	288	18	99	不明	5	2	
合計	7,543件	444施設	6,915施設				

15年度： 3,918件 366施設 6,734施設
14年度： 4,556件 385施設 6,882施設
13年度： 5,983件 458施設 6,882施設

3. 報告施設証の発行について

本年度より、フレアボイド報告をしていただいた施設に対して、日病薬より報告施設証を発行することといたしました。

発行対象は、フレアボイド報告を行った全施設として、毎年度発行します。

発端は、都道府県によっては、行政の薬事指導で病棟業務に関連して「フレアボイドしているか」とのチェック事項が設けられるなど、薬学的患者ケアの指標として行政からも注目されており、その証拠としていただく意味も考えました。

事務的効率も考え、半年に一回まとめて作業し、各施設に発送する予定です。委員会と事務局が協力して発行準備作業に入っておりますので、しばらくお待ち下さい。